



いたばし子ども未来応援宣言2025

実施計画 2025

(概要版)



板橋区

1 計画策定の背景

板橋区では、「板橋区次世代育成推進行動計画 いたばし子ども未来応援宣言 2025」（平成28(2016)年度～令和7(2025)年度。以下「応援宣言 2025」）、そのアクションプランである「実施計画 2021」に基づき、未来を担う子どもたちがすくすくとたくましく成長するまちの実現に向け、取り組んできました。

また、「板橋区子ども・若者計画 2021」（平成29(2017)年度～令和3(2021)年度）に基づき、子ども・若者の健やかな成長や、すべての子どもたちが夢と希望をもって成長する環境の実現をめざしてきました。

しかし、その間に区政を取り巻く環境は激変しました。国による不合理な税制改正に伴う区歳入の減収の恒常化に加え、新型コロナウイルス感染症の伝播による日本経済への深刻な影響など、区政はかつて経験したことのない危機に直面しています。誰一人取り残すことなく、切れ目のない支援を実行するためには、事業の工夫や選択と集中によって、ポストコロナ時代を見据えた「新たな日常」における区民サービスのあり方を模索する必要があります。

こうした厳しい区政環境がある一方、令和4（2022）年度には、児童相談所と子ども家庭支援センターの機能を併せ持つ「板橋区子ども家庭総合支援センター」が設置され、妊娠・出産期からの成育歴の把握、成長段階に応じた関係機関等との連携の強化など、次代を担う板橋区の子子どもたちが健やかで心豊かに成長できる環境が整います。

こうした背景のもと、板橋区では、「板橋区子ども・若者計画 2021」を統合した形で、「応援宣言 2025」の第3期のアクションプランである「実施計画 2025」を策定し、妊娠・出産から若者の社会的自立に至るまで、誰一人取り残すことなく、切れ目のない支援を実行し、「若い世代が住み続けたいなるまち・住みたくなるまち」の実現に向けた施策を展開・推進していきます。

2 計画期間

「応援宣言 2025」は、平成28(2016)年度から令和7(2025)年度までの10年間の計画となっており、この期間を3期に分けてアクションプランを策定しています。

「実施計画 2025」は、その3期目に当たり、令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの4年間の計画期間とします。



※第2編 板橋区子ども・子育て支援事業計画は、第2期（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）を策定済み

3 これまでの取組

(1) 実施計画 2021 の主な取組の成果

連携施策 1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- ◆CAP'S 児童館の充実
- ◆発達障がい者支援センター開設・運営

連携施策 2 子どもたちが自信をもって人生を切り開ける力を育成

- ◆幼稚園・保育園・小学校連携研修等の実施
- ◆中央図書館の改築及び「絵本のまち板橋」の充実

連携施策 3 地域全体で子どもたちの育ちを支援

- ◆板橋区コミュニティ・スクール(iCS)の全校導入



子育て応援児童館「CAP'S」

(2) 板橋区子ども・若者計画 2021 の主な取組の成果

目標Ⅰ 無限の可能性を引き出します

- ◆i-youth (あい・ゆーず)【体験活動の機会充実】

目標Ⅱ 職業観・勤労観を醸成します

- ◆キャリア教育・体験活動【職業能力開発の機会創出】

目標Ⅲ 社会とのつながりを創ります

- ◆学び i プレイス【居場所の提供】

目標Ⅳ 貧困対策を推進します

- ◆就学援助【経済的支援の実施】



学び i プレイス

(3) いたばし 子ども 夢つむぐプロジェクトの主な取組の成果

基本施策Ⅰ 子どもの「生き抜く力」の養成

- ◆子どもの学習・生活支援事業「まなぶーす」の増設
【無料学習支援の充実】

基本施策Ⅱ 子どもが育つ家庭(親)への支援

- ◆児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクト
【生活環境の整備による進学への保障】

基本施策Ⅲ 子どもの育ちを支援する地域社会の構築

- ◆子どもの居場所活動支援事業【地域の居場所づくり】

基本施策Ⅳ 支援につながるしくみづくり

- ◆ひとり親家庭サポートブック【情報提供の拡充】

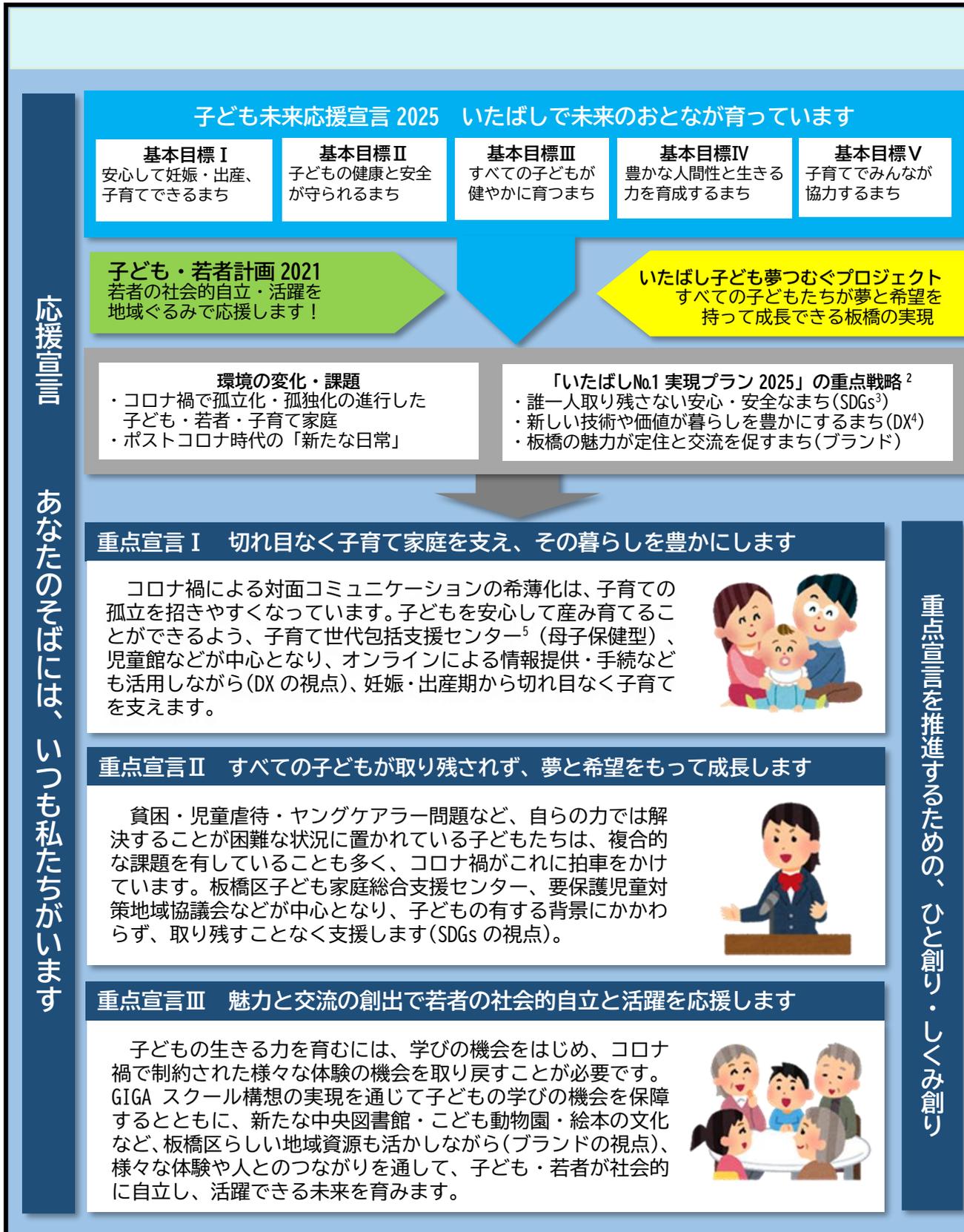


4 施策の体系

「実施計画 2025」では、「応援宣言 2025」の考え方を基本に、「板橋区子ども・若者計画 2021」で定めた体系を取り込みます。また、「板橋区地域保健福祉計画 地域でつながるいたばし保健福祉プラン 2025」を踏まえ、地域共生社会¹の実現に向けた包括的支援体制の一翼を担うべく、「実施計画 2025」において実行する事業を定めます。コロナ禍によって孤立化・孤独化が進行した子ども・若者・子育て家庭を切れ目なく支援するとともに、ポストコロナ時代における「新たな日常」の構築・定着を見据え、板橋区らしい資源も活かしながら、限られた財源の中で集中的に課題を解決します。そのために、新たな応援宣言と3つの重点宣言を掲げます。

¹地域共生社会：制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと。

5 実施計画 2025 の応援宣言・重点宣言・重点事業



²「いたばしNo.1 実現プラン 2025」の重点戦略：「いたばしNo.1 実現プラン 2025」は、「板橋区基本計画 2025」を着実に推進するアクションプログラムです。この計画では、①「SDGs 戦略」、②「DX 戦略」、③「ブランド戦略」の3つの重点戦略が掲げられています。

³SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)：2015年9月に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。「誰一人取り残さない」という理念のもと、「貧困の撲滅」と「持続可能な経済・社会・環境実現」等を目的に、すべての国が取り組むべき17の目標と169のターゲットが定められています。

★子どもなんでも相談◎

24 時間 365 日、児童相談等に対応ができる専門的な職員が電話相談に対応し、子どもたちやご家庭の課題解決を支援し、児童虐待の未然防止、早期発見、重篤化の防止につなげていきます。

★子育て支援情報の発信

子育て中の保護者のわからないこと・知りたいことを気軽に入手できるツールとして、日常から利用するスマートフォン用のアプリを無料で提供します。また、オンライン育児相談や動画配信などの機能強化を図り、妊娠期から切れ目のない子育て支援の実現に寄与します。

★オンラインによる妊婦面接の導入◎

コロナ禍において、外出や対面での相談に不安を感じる妊婦や、体調不良などにより自宅安静や入院が必要で外出が困難な妊婦も妊婦面接を受ける機会を保障し、安心して出産・子育てに臨めるよう、来所による面接に加え、オンラインによる面接を導入します。



子育て支援情報アプリの利用イメージ

★子ども家庭援助事業◎

児童虐待・非行・育成などの子育てに関する相談や区民・警察等からの通告に対し、専門的な知識・技術を活用し、総合的な調査・診断・判定を踏まえて決定した援助方針により、必要な援助を行います。

★医療的ケア児の受入◎

医療的ケアを必要とする児童のための看護師を配置し、医療的ケア児の発達に応じた保育を実施します。

★不登校改善重点校事業の実施◎

不登校改善重点校を指定し、個々の不登校児童・生徒の状況に応じた必要な支援について、実効性のある取組を実践します。また、不登校対策特別委員会を開催し、学識経験者からの助言を基に取組を検討及び実践し、各学校に実践事例等を周知します。



板橋区子ども家庭総合支援センター

★板橋こども動物園

動物とのふれあいにより、いのちの大切さを知り、豊かなこころを育む場を提供します。

★ロボットプログラミング教室の実施◎

家庭や学校では触れる機会の少ないロボットを利用したプログラミング学習の講座を開催し、「実体験を通じた学び」を通して、子どもたちのプログラミング的思考を育成します。

★若者の居場所づくり事業◎

若者の居場所としての i-youth において、さまざまな事業を通じた若者支援事業を実施します。事業実施にあたって、板橋区内外の大学、高校、NPO・ボランティア団体などの世代を超えた多様なネットワークを形成し、若者の活動を促進する仕組みをつくります。



板橋こども動物園

⁴DX（デジタルトランスフォーメーション）：2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱した「デジタル技術がすべての人々の生活を、あらゆる面で良い方向に変化させる」というコンセプトのこと。

⁵子育て世代包括支援センター：母子保健法に基づき、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目的として、区市町村が設置します。市町村保健センター等母子保健に関する相談機能を有する施設で実施する「母子保健型」のほかに、地域子育て支援拠点等身近な場所で、日常的に利用でき、かつ相談機能を有する施設で実施する「基本型」があります。

ライフステージに関連する計画事業（48事業）を施策の方向性ごとに掲載しています。

基本目標	ライフステージ 施策の方向性	0～2 歳	3～5 歳
I 子育てで いたばし 安んずる 妊婦・出 産、	I-1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を推進します	妊婦・出産ナビゲーション事業 産後ケア事業（訪問型・宿泊型） ◎オンラインによる妊婦面接の導入 ◎多胎児家庭支援事業（移動経費補助） 子育て支援情報の発信 子どもなんでも相談	
	I-2 誰もが希望する幼児教育と保育を受けられるよう支援します	保育施設の整備 保育士研修の充実 幼稚園・保育園・小学校交流合同研修	◎区立幼稚園での3歳児保育及び預かり保育の実施
II 子どもの 健康と安 全	II-1 子どもの命と健康を守ります	食育の推進 出張歯みがき指導 予防接種	げんきっ子トラフィックスクール 自転車通行空間の整備
	II-2 子どもが安心・安全に暮らせるよう取り組みます	公園のユニバーサルデザイン化 板橋セーフティー・ネットワーク	
III 子育てで いたばし 健やかな 子どもが	III-1 特に配慮が必要な子どもの健やかな成長を支援します	◎医療的ケア児の受入 要支援児保育巡回指導	障がい児通所支援
	III-2 貧困や虐待から子どもを守ります	ひとり親家庭就労支援プログラム策定事業 ◎養育費確保支援事業 子ども家庭支援事業 ◎子ども家庭援助事業 ◎里親事業	
IV 子育てで いたばし 豊かな人 間性と生 き	IV-1 これからの社会を生き抜く力を養成します		子ども向け美術普及
	IV-2 自信をもって大人へと成長するよう子どもと家庭を支援します		
V 子育てで いたばし 協力を みんなが	V-1 子どもが誇りを持てるいたばしをつくりま	子育て支援員の活動支援	
	V-2 「子育てするなら“いたばし”で」を実現します	図書館サポーターの育成 いたばしグッドバランス推進企業表彰 板橋こども動物園	



いたばし子ども未来応援宣言 2025
実施計画 2025 概要版

編集 板橋区子ども家庭部子ども政策課
〒173-8501 板橋区板橋二丁目 66 番 1 号
TEL 03-3579-2471 FAX 03-3579-2487
kk-shomu@city.itabashi.tokyo.jp

令和 4 年 3 月発行

刊行物番号 R03-99